

大阪港湾・空港整備事務所におけるSDGsの取組について

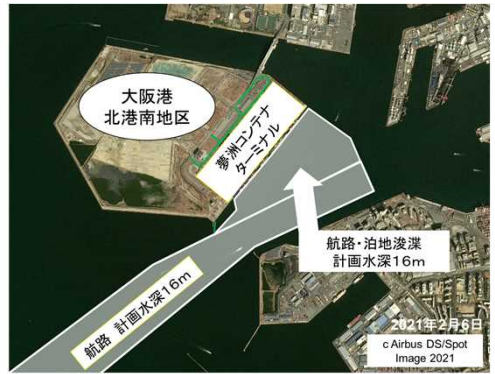
私ども大阪港湾・空港整備事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策を通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献するとともに、港湾・空港整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。



大阪港北港南地区国際海上コンテナターミナルの整備

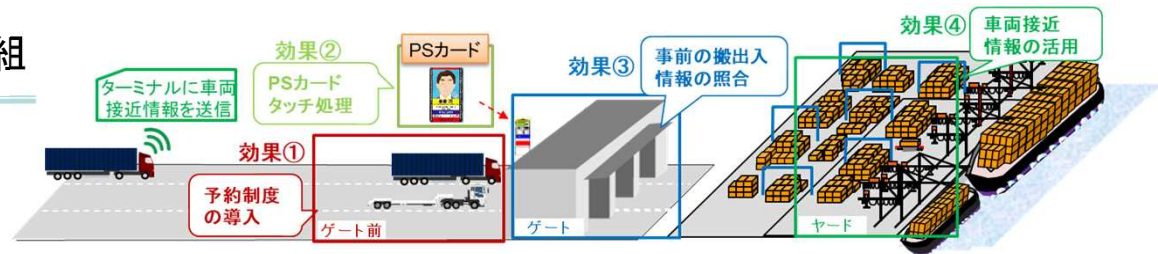
大阪港北港南地区の夢洲コンテナターミナルでは、今後のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化に対応するため、岸壁、航路等の整備を行っています。また、大規模地震災害に備え安定的な物流機能の確保を行うため、耐震強化岸壁やその背後の荷さばき地の液状化対策等を行っています。

整備の効果として、貨物の大量輸送が可能となることによる物流の効率化、安定的な物流網の確保、耐震機能の強化によるサプライチェーンの強靱化、これらを通じた地域経済の持続的な発展が期待されます。



CONPASによるコンテナターミナル効率化の取組

コンテナ船の大型化に起因するコンテナ積卸個数の増加により、コンテナターミナルのゲート前の混雑が深刻化しています。これを踏まえ国土交通省において、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を目的にCONPAS※を開発しました。大阪港では本格運用に向けた試験運用を実施しています。



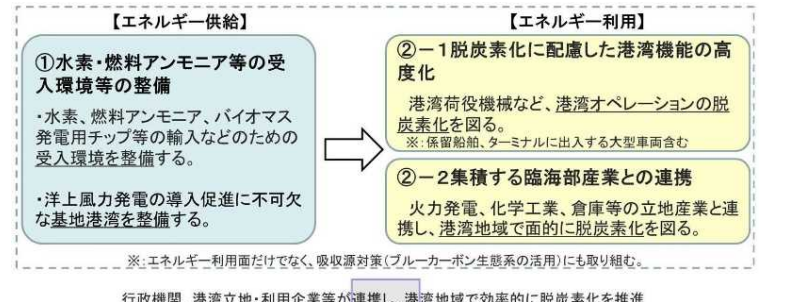
CONPASのイメージ

※Container Fast Pass: ゲート処理等の効率化やセキュリティの向上を目的としたシステム



カーボンニュートラルポート形成への取組

脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を通じて「カーボンニュートラルポート(CNP)」を形成し、我が国全体の脱炭素社会の実現に貢献することを目指し、「大阪“みなと”(大阪港・堺泉北港・阪南港)におけるカーボンニュートラルポート(CNP)検討会」に参画し、CNPの形成に向けた検討を進めます。



行政機関、港湾立地・利用企業等が連携し、港湾地域で効率的に脱炭素化を推進

カーボンニュートラルポート(CNP)の形成

「カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画」策定マニュアル(初版)より